

令和元年度 地域連携担当教職員等南会津地区研修会 実施報告書

(南会津) 教育事務所

1 実施期日	令和元年6月17日(月) 時間: 13時00分~16時20分
2 会場	南会津町御蔵入交流館
3 出席者数	総出席者数 計 31名(男性27名 女性4名)
(内訳)	地域連携担当教職員(小学校14名、中学校6名、高等学校3名) 教育委員会担当者(南会津町、下郷町、檜枝岐村、只見町) 南会津教育事務所(次長(総務)兼総務社会教育課長、次長(業務)兼学校教育課長、主任社会教育主事、指導主事兼社会教育主事)
4 会議概要	(1) 講義 (2) 講演 (3) 実践発表
5 会議内容	(1) 開会式 進行 主任社会教育主事 渡部 学 ○開会のことば ○主催者あいさつ(代読) 次長(総務)兼総務社会教育課長 高橋 正敏 ○日程説明・諸連絡 (2) 講義「地域と学校の連携・協働」 福島県教育庁社会教育課 社会教育主事 戸井田 修 (3) 講演「地域と共にある学校づくりを目指して~地域学校協働活動の推進~」 尚綱学院大学教授 松田 道雄 氏 (4) 実践発表「学校と地域の連携・協働による良さ」 西郷村教育委員会生涯学習課 指導主事兼社会教育主事 鈴木 英雄 氏 (5) 閉会式 ○ 諸連絡 ○ 総括 次長(総務)兼総務社会教育課長 高橋 正敏 ○ 閉会のことば



6 成果・課題

(1) 成果

- 域内の小中学校、高等学校の地域連携担当教職員と各町村の教育委員会担当者が研修会に参加し、講義等を聞くことにより、地域連携・協働の必要性について理解してもらうことができた。
- 講演で、「地域と共にある学校づくり」を目指すためには、地域の方に学校に来てもらって学校のためになることをしていただくだけでなく、学校からも地域のためにしていることができることは何かという視点をいれていく必要があるということをお話していただいた。それによって、参加者は学校が地域に貢献していかなければいけないという意識を強く持つことができた。
- 講演の中でグループで話し合う時間をとっていただいたことにより、参加者が自分の学校の取組について話すことができ、他校の実践について理解することができた。また、課題についても考えるきっかけとなっていた。
- 実践発表では、具体的な実践についてお話をいただいたので、研修者に自分の学校で実践しようという意識を高めることができた。
- 研修会の前に各校から質問等を出してもらい、それについて説明をする時間を設けたので、研修者の不安を少し解消することができた。



(2) 課題

- 今回の研修で、参加者に大まかに理解をしてもらうことはできたが、さらに理解を深める必要があると感じている。この後の地域学校協働研修会で実践発表や協議の場を設定し、さらに理解を深め、実践に生かせるようにしたい。
- ボランティアを募る方法や人材バンクの作成等、学校だけでは難しいところがあるので、町村教育委員会の理解を得ながら今後の事業を推進していきたい。

